




古典的立場の確率

サイコロを 1 回投げると、1 から 6 のいずれかの目が出る

ref: スッキリわかる確率統計 p61~62

ここで、サイコロの目が 1 となる確率は、全体が 6 通りで、1 が出る場合は 1 通りしかないため、 $\frac{1}{6}$ と考える

確率をこのように考えることを **古典的立場**あるいは**組合せ的**という

 古典的立場による確率 全体で n 通りの場合があり、そのうちある事象 A が起こる場合の数が a 通りあるとき、事象 A の起こる**確率**を次のように定義する

$$P(A) = \frac{a}{n}$$

このように定義された確率を**算術的確率**あるいは**先験的確率**という